



KONICA MINOLTA

複合機をより安全に お使いいただくために

本書では、コニカミノルタ複合機「bizhub（ビズハブ）」における、外部からの不正アクセス防止対策設定を、抜粋して掲載いたしております。管理者の方におかれましては、是非ご一読賜りますようお願いいたします。

※本書は下記機種を例に説明をしております。

bizhub 750 / 600

bizhub 500 / 420 / 360

・ 複合機をより安全にお使いいただくための前提として	P3
・ 複合機のセキュリティー対策として	P3
・ ① 管理者パスワードを変更する	P4
・ ② 登録宛先変更を禁止する	P5
・ ③ PageScope Web Connectionへアクセスする方法	P6
・ ④ 複合機へのアクセスをIPアドレスで制限する	P7
・ ⑤ 複合機とコンピューターとの通信をSSLで暗号化する	P8
・ ⑥ ユーザー認証を導入する ※より強固な管理を望まれる場合	P9
・ ⑦ ボックスのパスワードの設定方法	P10

複合機をより安全にお使いいただくための前提として

- ① ファイアーウォール内で複合機をご使用ください。
- ② グローバルアドレスを複合機のIPアドレスとして設定しないでください。

プライベートIPアドレスでの運用をお願いいたします。

複合機にグローバルIPアドレスが設定されている場合、インターネット上の不特定多数のユーザーからアクセスできる状態となり、外部からの不正アクセスによる情報漏えいのリスクも高まります。

一方で複合機にプライベートIPアドレスが設定されている場合、社内LANなどのローカルエリアネットワーク上のユーザーからしかアクセスすることができません。

複合機のIPアドレスにプライベートIPアドレスを設定して運用して頂くことを推奨します。

プライベートIPアドレスには、以下のいずれかの範囲のアドレスが使用されます。

【 プライベートIPアドレスの範囲 】	10.0.0.0	～	10.255.255.255
	172.16.0.0	～	172.31.255.255
	192.168.0.0	～	192.168.255.255

複合機のセキュリティー対策として

コニカミノルタ複合機「bizhub（ビズハブ）」本機より、下記設定をお願いいたします。

- ① 管理者パスワードを変更する
- ② 登録宛先変更を禁止する

コニカミノルタ複合機「bizhub（ビズハブ）」に組み込まれております、

「PageScope Web Connection」の管理者モードより、下記設定をお願いいたします。

- ③ PageScope Web Connectionへアクセスする方法
- ④ 複合機へのアクセスをIPアドレスで制限する（IPアドレスフィルタリング）
- ⑤ 本機とコンピューターとの通信をSSLで暗号化する
- ⑥ ユーザー認証を導入する
- ⑦ ボックスのパスワードの設定方法

① 管理者パスワードを変更する

本機の操作パネルから、本機の管理者パスワードを変更できます。
管理者パスワードは定期的に変更する運用をお勧めいたします。

1.

【設定メニュー/カウンタ】を押します。



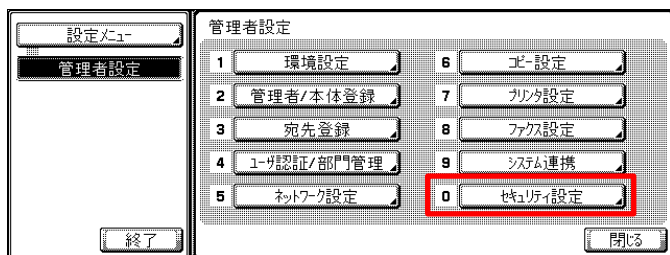
2.

[3 管理者設定] を押し、現在の管理者パスワードを入力して [OK] を押します。



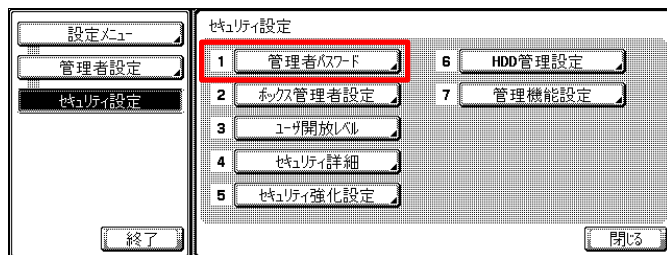
3.

管理者設定画面が表示されます。[0 セキュリティ設定] を押します。



4.

[1 管理者パスワード] よりパスワードの変更をします。



※現在お使いの管理者パスワードを忘れた場合、サービスエンジニアによる設定が必要です。
サービス実施店にお問い合わせください。

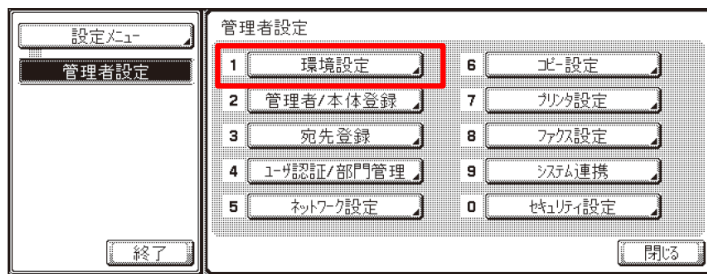
② 登録宛先変更を禁止する

本機の操作パネルから一般ユーザーに対して登録宛先の変更ができないように設定ができます。

1.

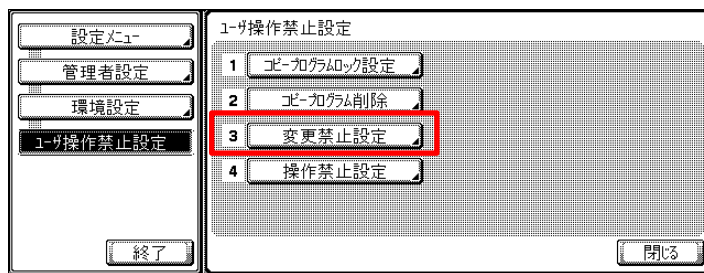
「① 管理者パスワードを変更する」の 1. 2. の操作をして、管理者設定画面を表示させます。

[1 環境設定] を押します。



2.

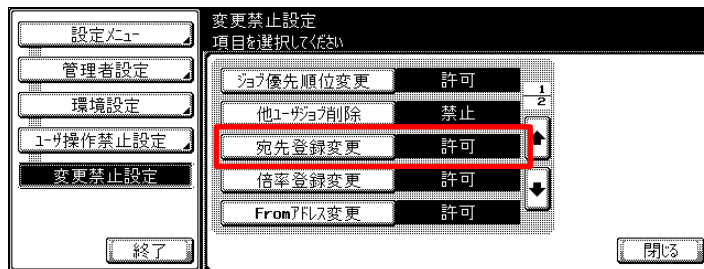
[3 変更禁止設定] を押します。



3.

変更禁止設定画面が表示されます。

「宛先登録変更」を [禁止] に設定します。



③ PageScope Web Connectionへアクセスする方法

「PageScope Web Connection」は、複合機に内蔵されている管理用のユーティリティソフトウェアです。コンピュータからWebブラウザーを使用し、本機のステータス確認・本機の各種設定などが行えます。コンピュータでWebブラウザーを起動し、URLのフィールドに本機のIPアドレスを入力して[Enter]を押すと、「PageScope Web Connection」の画面が表示されます。

【例】 本機のIPアドレスが「192.168.1.20」の場合は、「http://192.168.1.20/」と入力します。

「① 管理者パスワードを変更する」の 1. 2. の操作をして、
[管理者パスワードを入力] ⇒ 管理者設定 [ネットワーク設定] ⇒
[TCP/IP設定] ⇒ [使用する] で、本機に割り当てられたIPアドレスを確認できます。



プライベートIPアドレスでの運用をお願いいたします。

複合機にグローバルIPアドレスが設定されている場合、インターネット上の不特定多数のユーザーからアクセスできる状態となり、外部からの不正アクセスによる情報漏えいのリスクも高まります。

一方で複合機にプライベートIPアドレスが設定されている場合、社内LANなどのローカルエリアネットワーク上のユーザーからしかアクセスすることができません。

複合機のIPアドレスにプライベートIPアドレスを設定して運用して頂くことを推奨します。

プライベートIPアドレスには、以下のいずれかの範囲のアドレスが使用されます。

【 プライベートIPアドレスの範囲 】	10.0.0.0	～	10.255.255.255
	172.16.0.0	～	172.31.255.255
	192.168.0.0	～	192.168.255.255

④ 複合機へのアクセスをIPアドレスで制限する

本機へアクセスするコンピューターを、IPアドレスによって制限できます。これを、IPアドレスフィルタリングと呼びます。

PageScope Web Connectionから本機へのアクセスを許可するIPアドレスが指定できます。

※ IPアドレスフィルタリングは、IPv6環境には対応していません。

1.

管理者モードの [ネットワーク] ⇒ [TCP/IP設定] ⇒ [IPフィルタリング] で、許可範囲を設定してください。

The screenshot shows the 'IPフィルタリング' (IP Filtering) settings page. The '許可設定' (Allow Settings) section is highlighted with a red box. A blue callout box with the text '[有効]を選択してください。' (Select [Effective].) points to the '有効' (Effective) dropdown menu. The '拒否設定' (Deny Settings) section is also visible below it. The '確定' (Confirm) button is highlighted with a red box.

許可設定	無効
範囲1	0.0.0.0 - 0.0.0.0
範囲2	0.0.0.0 - 0.0.0.0
範囲3	0.0.0.0 - 0.0.0.0
範囲4	0.0.0.0 - 0.0.0.0
範囲5	0.0.0.0 - 0.0.0.0

拒否設定	無効
範囲1	0.0.0.0 - 0.0.0.0
範囲2	0.0.0.0 - 0.0.0.0
範囲3	0.0.0.0 - 0.0.0.0
範囲4	0.0.0.0 - 0.0.0.0
範囲5	0.0.0.0 - 0.0.0.0

確定 クリア

2.

[設定] をクリックします。

設 定	説 明
[許可設定]	アクセスを許可するIPアドレスを指定する場合は、[有効] を選びます。 あわせて、アクセスを許可するIPアドレスの範囲を入力します。 1つのIPアドレスからのアクセスを許可する場合は、片方だけの入力でも設定できます。 [入力例] 192.168.1.1 （初期値は [無効] です。）

⑤ 複合機とコンピューターとの通信をSSLで暗号化する

コンピューターとPageScope Web Connectionとの通信をSSLで暗号化して、セキュリティを強化できます。

管理者モードの [ネットワーク] ⇒ [SSL/TLS設定] のSSL設定を、
「管理者モードのみ」または「管理者モードとユーザーモード」に設定をしてください。



設定	説明
[SSL/TLS使用モード]	<p>SSL通信を行うログインモードを選びます。</p> <ul style="list-style-type: none"> •[管理者モードのみ]：管理者モードだけSSLで通信します。 •[管理者モードとユーザーモード]：管理者モードとユーザーモードの両方をSSLで通信します。 •[なし]：SSLで通信しません。 <p>初期値は [なし] です。</p>
[暗号強度]	<p>SSLの暗号強度を選びます。</p> <p>お使いの環境に合わせて選んでください。</p>

！ 注意 !

Windows XP/Server 2003でInternet Explorerをお使いの場合は、暗号強度を[AES-256]に設定すると、SSL通信(https接続)ができません。

⑥ ユーザー認証を導入する ※より強固な管理を望まれる場合

本機を使えるユーザーを、本機の認証機能（本体装置認証）で制限できます。ユーザーの認証情報は、本機の内部で管理します。本体装置認証を導入する場合は、次の手順でユーザー認証の基本設定とユーザー登録をしてください。

1.

管理者モードの [ユーザー認証/部門管理] ⇒ [認証方式] で、「ユーザー認証」を [本体装置認証] に設定をします。



管理者

ログアウト システム ジョブ ボックス プリンタ スキャナ登録 ネットワーク

ユーザー認証/部門管理

ユーザー認証 外部サーバ認証

外部認証サーバタイプ Active Directory

デフォルトドメイン名 training2

NTLM

デフォルトドメイン名

NDS

デフォルトNDSソリール名

デフォルトNDSコンテキスト名

部門管理 管理する

部門管理認証方式 部門名+パスワード

ユーザー認証/部門認証の連動 連動する

ユーザーカウンタ割当て数 500 (1-999)

上限値到達時の動作 ジョブ飛び越し

確定 クリア

2.

管理者モードの [ユーザー認証/部門管理] ⇒ [ユーザー認証設定] ⇒ [ユーザー登録] ⇒ [新規登録] で、ご利用ユーザーすべてを、もしくはご利用部門を登録してください。



管理者

ログアウト システム ジョブ ボックス プリンタ スキャナ登録 ネットワーク

インポート/エクスポート

日時設定

本体登録

装置情報

ROMバージョン

セールスカウンタ

オンラインサポート

メンテナンス

状態通知設定

トータルカウンタ通知設定

ネットワークTWAIN

ユーザー認証

ユーザー登録

初期機能制限設定

部門登録

ユーザー登録

新規登録

No. ユーザー名

1 user001

注意！

ユーザー認証を導入される場合は、コピー・ファクス・プリンターとともにユーザー認証（ID/パスワードの入力、認証カードなど）が必要になります。詳細につきましては弊社担当にご相談ください。

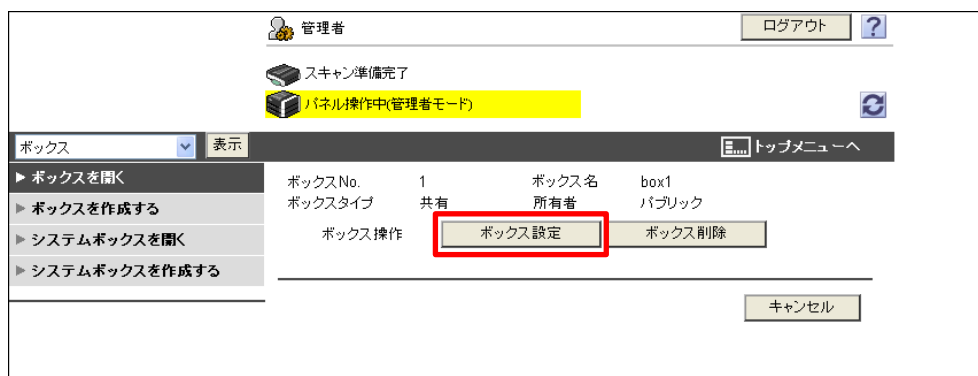
⑦ ボックスのパスワードの設定方法

PageScope Web Connectionのユーザーモードで、本機に作成されているボックスにパスワード設定ができます。

1.

ユーザーモードの [ボックス] ⇒ [ボックスを開く] ⇒ [ボックス設定] の「ボックスパスワードを変更する」にチェックを入れ、パスワードを入力してください。

パスワード設定されていない場合は、「現在のパスワード」を入力する必要がありません。



2.

[OK] を押します。

